

備前市事務事業評価表

(平成17年度事業)

事務事業名	高等学校災害復旧事業		コード	担当課係	教育総務課管理係
			03-01-03-03	担当者	坪本弘毅
事業実施期間			電話	0869-64-1802	
総合計画 事業(政策)体系	大項目	地域文化と人が輝くまちづくり			
	中項目	未来を支える人材を育むまちづくり			
	小項目	高等学校			
	施策	特色ある学校づくりの推進			

事業について	
目的	暴風、豪雨、洪水、高潮、地震、津波その他の異常な天然現象によって生じた災害によって被害を受けた定時制高等学校の施設・設備などを原形に復旧する。
対象(誰のために)	岡山県備前市立片上高等学校
内容	災害によって被害を受けた高等学校の施設・設備などを原形に復旧するため、定時制高等学校の教育活動のために使用する備品等の設備の購入や建物・施設の修繕を行います。

事業の結果				
実施項目	17年度			
	回数など	(単位)	回数など	(単位)
17年災害	1	箇所		

事業費 (単位：千円)	事業費		財源		事業費		財源	
	直接事業費	78	国庫補助金等		直接事業費		国庫補助金等	
	人件費	1,845	受益者負担		人件費		受益者負担	
	合計	1,923	市債	1,923	合計	0	一般財源等	0

必要人員	0.20	人		
結果指標名	17年災害復旧事業			
結果指標量	1			
単位	箇所			
対前年比	—		0.00%	
事業費	77,700	円		
単位当たりコスト①	77,700	円		

結果指標名	17年災害復旧事業			
結果指標量	1			
単位	箇所			
対前年比	—		0.00%	
事業費		円		円
単位当たりコスト②		円		円

事業の成果			
成果指標名	1ヵ年以内での復旧率	式又は説明	1ヵ年以内の完了箇所/17年発生災害総数 1/1
	17年度		
成果指標量	100%		
対前年比	—		0.00%
到達目標値	100	到達目標年度	

事務事業の評価		
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	<input type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input checked="" type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である 関係法令等：
	対象の妥当性	<input type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である
	市民ニーズの妥当性	<input type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input checked="" type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である
効率性の評価	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input checked="" type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である
	コストの効率化	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である
	手段の最適化	<input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている
有効性の評価	職場の効率化	<input checked="" type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT(職場研修)は行われている <input checked="" type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input type="checkbox"/> 事業実施について職員の見解・要望が反映されやすい
	目的達成度	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している
	成果向上の可能性	<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある
市民参画度	市民参画度	<input type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input checked="" type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている

総合評価	
コメント	本事業は、早期完了することにより、円滑な定時制高等学校の管理運営ができる。 評価区分 <A~E> B

今後の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する <input checked="" type="checkbox"/> 完了・統合
翌年度結果指標量①	結果指標量②
目標値	成果指標量

改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
有効性	定期点検の徹底	毎年	危険箇所の早期改修

事業の目的、対象、内容を考えながら目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

本事業は、従来の機能を回復することを目的とし、定時制高等学校の管理・運営に影響を与えないよう早期着手・完了をしなければならぬ。

備品等の購入に当たっては、最も安価な方法で購入するよう努める必要がある。

今後は、防災面も含め順次、施設整備をしていかなければならない。